



▲**棧敷窓のある町並み**を馬見岡綿向神社へ向かう
曳山



▲**曳山の上からの眺め**は、一味違います。曳山に
乗せるだしは、「蒲生氏郷」など趣向を凝らして
作られていました



▶今年復元新調され、龍が金色に輝く
杉野神町曳山の見送り幕



伝統を守りにぎわうまち

絢爛豪華な時代絵巻 日野祭

馬見岡綿向神社の春の例大祭である日野祭。5月2日に宵祭、3日に本祭が行われました。

3日の本祭では、「神子」と呼ばれる3人の稚児や袴姿が凛々しい「神調社」、11基の曳山と3基の神輿などが宮入しました。

地元の方々が曳山を引いて本通りを練り歩き、連合青年会が主催する「曳山体験ツアー」の参加者の姿も見られました。

地元の皆さんが伝統を守り、作り上げた日野祭。5月2日の宵祭には2千人、3日の本祭には3万人の観光客が訪れました。

にぎわいに満ち、伝統を受け継ぐ町民の皆さんの姿が多くの観光客の心に残ったのではないのでしょうか。



▲一斉に祭囃子が鳴り響く中、渡御が発しました



▲威勢の良い掛け声とともに、神輿が町なかを渡りました

祭りとともににぎわう通り

棧敷窓アート (5月2、3日開催)

◀木工や日野椀、絵画など、恒例の棧敷窓アートが続く道の途中、棧敷窓の景色が楽しめる場が設けられていました

田植っておもしろい!

南比都佐小学校でたんぼの子体験事業

5月6日(木)、南比都佐小学校2年生18名と5年生32名が、学校近くの田んぼで田植えを体験しました。

田んぼを管理してくださっている菅羽松司さんの指導のもと、子どもたちは裸足で田んぼに入りました。田んぼに入った瞬間、足の感触に「わあー!」と歓声が上がりにぎやかな田植えとなりました。

2年生の子どもたちは、5年生に教えてもらいながら、初めての田植えを体験しました。

2学年が交流し、一緒に田植えを楽しみました。



▲苗の束を片手に持ち、一列に並んで田植えをしました



▲子どもたちは空に舞い上がる風船を名残惜しそうに眺めていました

こどもの日の思い出をつくろう

必佐地区子ども大会

5月9日(日)、必佐小学校グラウンドで、必佐子ども会補導委員会と必佐公民館主催の第62回必佐地区子ども大会が開催されました。

当日は約350名の参加者と約100名のスタッフの皆さんで、会場は大変にぎわいました。

今年初めて企画されたゲタ飛ばし選手権やころころサイコロゲームなど、さまざまなイベントが行われました。

恒例の風船飛ばしでは、色とりどりの風船にメッセージを書き、拾った方からメッセージが届くことを願って、みんなで一斉に飛ばしました。

いろいろなスポーツに挑戦!

みんなのスポーツ広場

5月13日(木)、大谷公園体育館でみんなのスポーツ広場の第1回目が行われました。

参加された皆さんは、バドミントンや卓球、ヨガ、室内ペタンク、公園内ウオーキングなど、興味のあるスポーツを選んで楽しみました。子どもから大人まで、幅広い年代の方が家族や友人たちと参加されていました。

日野町体育指導委員の方々がスタッフとして加わり、参加者の皆さんと会話も楽しみながら、スポーツのおもしろさを伝えられていました。

6月24日までの毎週木曜日、19時30分から21時30分に開催されます。



▲子どもから大人までと一緒にチームを作り、新種目「ふうせんバレー」に挑戦